



Fukuoka Alumni Newsletter

事務局:〒939-0127 富山県高岡市福岡町上蓑561番地 福岡高等学校内
ホームページ URL <http://www.fukuoka-h.tym.ed.jp/ja/doso.html>



生きる

副会長 伊藤 雄一郎

富山県立福岡高等学校は、平成24年度には創立30年を迎えると聞き、同窓生の一人として、感慨深く思っております。これもひとえに携わって頂いた

教職員の皆様、関係各位の賜物と感謝しております。これからも、同窓会共々かわらぬ御支援御協力を宜しくお願い致します。

平成23年は、暗いニュースばかりだった。平成23年3月11日、東日本大震災が発生。富山県では、震度3にもかかわらず大きな揺れを感じたのは、私だけではないだろう。その後のテレビは御承知のとおり地震関連一色であった。約3日間に渡り、テレビ各局は、普段の番組ではなく、特別編成で連日東北の情報をリアルタイムで伝えていた。私は、2度東北を訪れることが出来た。1度目は4月。ボランティアを目的に。知人に海辺の都市を案内してもらった。知人の地元であるこの土地にどんな規模の地震がきて、想像を遥かに超える津波が襲い、人々がどんな行動をとったのか…。詳しく話してくれた。1つのエピソード。知人の幼馴染に3日ぶりに連絡が取れたときの会話。「元気だった?よかったね。連絡が取れなくて心配したよ。」「俺は大丈夫なんだけど、妻と子どもが…。」返す言葉が見つからなかったようだ。地震発生からまだ1カ月もたっていない時、「俺は大丈夫、生きているから。それよりも、1人でも多くのみんなにこの現状を語っ

てほしい。」と。8月に訪れた時は、妻と高校3年生の娘と中学3年生の息子と4人で訪問した。目的は、未来を生きる子ども達に何かを感じとって欲しいため。私自身は、約4ヶ月ぶりだったが、同じ知人に同じルートを案内してもらった。整地が進みきれいで平らな土地に生まれかわっていた。が、角を曲がると目の前に何百メートルと続くガレキの壁が出現した。あの光景は忘れることは無いと思う。車の中、妻と2人の子どもと数分間、会話は無かったと思う。未曾有の災害の現場を目の当たりにして、これから自分達はどのように生きていくのか?どんなことができるのか?子ども達自身は何かを感じ取ってくれたと思っている。

今、僕らはほんとに幸せだ。大好きな家族、友人。温かい食事、当たり前に戻り自宅。もちろん、上をみればきりが無い。だけど、考えて欲しい。一瞬で全てが無くなったら。

生きたくても生きられなかった人や、離れ離れにならざるを得なかった人達のこと。

機会があれば是非東北の地を訪問して欲しい。そして、見たまま、感じたままを大事な人に伝え続けて欲しい。忘れていくこと、風化させていくことが、生きている僕らが1番してはダメなことだと思う。健康で平和に暮らしている感謝を込めて。生きている感謝を込めて。

第26回

同窓会総会 & 懇親会

平成23年8月13日(土)、ホテルニューオータニ高岡において「第26回福岡高等学校同窓会総会」が開催されました。永年勤続表彰では、東海直樹先生に10年勤続として、同窓会より感謝状と記念品を贈呈しました。その後平成22年度の会務・会計・監査報告に続き、平成23年度の会務計画案と併せて、平成24年度予定の創立30周年記念事業についての説明がありました。記念事業計画案とともに、事業費として160万円が組み込まれ、会計予算案が全会一致で承認されました。総会には約240名が出席し、鳳凰の間で行われた懇親会では、恩師の先生方や旧友との再会を懐かしみ当時の映像を見ながら歓談や校歌斉唱など、楽しいひと時を過ごしました。



再会に会話もはずむ受付風景



我々第2回卒業生にとっては、5年ぶりの同窓会でした。1月にプチ同窓会を開催し5年ぶりの同窓会を開催することを宣言しました。その後ほぼ毎月、2回生で集まり準備をしてきました。かく言う私も、幹事の二人をサポートする立場で準備に参加しました。電話、メール、ハガキ、SNSなどあらゆる手段で連絡し、参加を呼びかけました。多くの友達が呼応してくれ、回数を重ねるごとに協力してくれる仲間が増えとても心強く感じました。

今年の同窓会は、後輩の同窓生とともに同窓会総会及び懇親会に参加させていただくということで、我々にとっても初めての経験でした。当初、どうなることか不安もありましたが、受付で多くの懐かしい顔を見た時、忙しい中時間を割いて参加してくれたことに友情を感じ、胸が熱くなりました。懇親会では、会長を始め、先輩方ともお話が出来て楽しい時間を過ごすことができました。不思議なもので卒業以来ご無沙汰していた友達でも、会った途端高校時代に引き戻されたように会話が弾みました。高校生の時は話す機会が無かった友達とも、楽しく話せてしまいました。心残り、後輩たちと交流が少なかったことです。

同じ制服を着て、同じ校舎で多感な十代を過ごしたという経験を持つ我々は、無条件に一つになれるということを改めて感じました。この日は、福岡高校卒業生であることをとても誇りに思いました。同窓会を機会にクラス、部活動、第2回卒業生といった様々な形で仲間が集まるようになりました。今後もこのかけがえのない絆を大切にしていきたいと感じています。最後に同窓会役員ならびに常任幹事の皆さんのご尽力に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

2回生 安田 政聡



乾杯の音頭は 恩師の沢田先生

6回生 恩師の蒲田先生



今回の同窓会にあたり、6回生の参加案内などのお手伝いをさせていただきました。同窓会って、なんかタイムスリップした様な感じです。もう高校を卒業してから20年が経ち、当時の年齢の倍以上になっているのに、そのブランクも感じないものでした。

でも、できるなら、たくさんの人で盛り上がったほうがいいなと思いました。今回、6回生は参加者が少なく、300人以上いたのに60人程度で2割に満たなかった。2回生の盛り上がりがちよっと羨ましかったです。

なので、これから来年の同窓会に向けて中心となる人へのアドバイス。

今回の参加案内は、はがき案内だけで電話連絡は積極的になかった。やっぱりクラス単位で中心になる人を決めて、電話などで後押ししたほうがいいと思います。20年も経つと音信不通の人が多いです。特に高校時代に携帯・メールがなかった世代は、怪しまれるかもしれませんが、地道な電話しかないです。

せっかくやるなら盛り上がるように頑張ってください。やっぱり同窓会って楽しいですよ。

6回生 中保 哲憲



10年ぶりに会った同級生は、容姿は多少変わっていたけれど、話してみると、すっかり高校生気分になり盛り上がりました。そして、高校時代の楽しかった事が思い出されました。

話の内容は、高校時代の思い出や、卒業後の進学、就職、近況話などで、あっという間に時間は過ぎてゆきました。

それぞれの活躍を聞いて、とても刺激になり、現住所の大阪に帰っても、頑張ろうと思いました。そして、次に会って、また高校生気分で話し合えるのを楽しみにしています。

お世話をしてくださった幹事さん、ありがとうございました。

16回生 込山 絵美子(旧姓 竹島)

私が同窓会の会場に受付の準備をしに行ったのは自動車学校の帰りでした。自動車学校は私を送迎バスで直接会場まで送ってくれました。バスの中ではこれから会う同級生の顔を思い浮かべてとてもワクワクしていたことを覚えています。

会場に着き、同窓会が開かれるフロアまでエレベーターで移動すると先生方が迎えてくださいました。当時私は髪を染めていたので「明るい印象になった」「大学生っぽいね」など言われて少し照れくさかったです。準備を始めたところに幹事の同級生が合流しました。幹事は各クラス男女一名で私を含めた男3名と女3名で構成されていました。幹事のみんなも雰囲気が変わっていて、以前にも増して男前、美人になっていました。受付が始まると数ヶ月ぶりに同級生のみんなと会うことができました。それも数ヶ月前の緊張や不安が入り混じった固い表情ではなく、大学などの新しい環境を存分に楽しんでいる顔でしたので私自身もうれしくなり、良い気分で受付の仕事をこなすことができました。

会食が始まると盛り上がりは一気に高まりました。おいしい料理やデザートなどのバイキングを満喫しながら高校時代の思い出や新しい生活について話し合ったり、写真を撮り合ったりしているみんなはだれしも笑顔であふれていました。

あっという間に同窓会は終わってしまい、私たちの学年は二次会を企画してなかったのでその場でお開きとなりました。この点はとても反省していて、次の同窓会では必ず企画しようと思います。短い時間でしたが同級生たちと会うことで大きなパワーをもらうことができました。何年後かにまた会う機会があると思いますがよりよい同窓会にしたいと思います。

26回生 平田 拓也



26回生 常任幹事の平田です。総会では司会を務めました。ドキドキ



創立30周年に向けて

校長 高木 三郎

昨年の8月に「ホテルニューオータニ高岡」で開催された同窓会懇親会の若さあふれる熱気は、今も忘れることが出来ません。同窓会の多くは、年長者への遠慮からか若い人の参加が少ないと聞いていますが、本校は若い人がたくさん参加されており、同窓会の団結力の強さを感じた次第です。5年前の野球部甲子園出場、連絡網が整備されたことも関係しているのかもしれませんが。そういう本校も来年度には創立30周年を迎えます。本校は今や、「英語の学校」として評価を高め、大学進学においても部活動においても着実に実績を積み上げています。これもひとえに、本校卒業生の皆様方の努力と向上心により育まれてきた良き校風と伝統のおかげと感謝しています。30周年という節目を同窓会員の皆様方と一緒に祝いたく、平成24年10月26日(金)に記念式典と記念公演を計画しています。合わせて記念誌も発行できるよう準備を進めています。記念公演は、本校第11回生の山本有希子さんと堀早苗さんのお二人によるオペラコンサートを依頼してあります。お二人とも二期会オペラ研修所で研修を積み、今では全国各地で演奏会を開くなど活躍しておられます。先輩の活躍が目の前で見られることは、生徒たちにとって何よりの励みになることと思います。同窓会員の皆様方には、後日、もう少し詳しい日程をお知らせする予定ですが、是非ご来校の上、一緒に祝っていただきたいと願っています。

福岡高等学校 同窓会役員名簿

役職名	氏名	回	組
会長	大野 洋靖	1	5
副会長	立川 証	1	4
副会長	伊藤 雄一郎	2	2
副会長	板谷 直子	4	2
監査	米沢 尚美	2	4
監査	牧野 友紀	3	3
監査	赤尾 繁樹	8	3
常任幹事	長谷川 格	1	5
常任幹事	宮田 俊孝	2	1
常任幹事	徳田 新一	3	1
常任幹事	浅地 隆佳	4	6
常任幹事	中村 裕二	5	1
常任幹事	塚原 映生	6	3
常任幹事	金森 剛生	7	3
常任幹事	松本 信幸	8	3
常任幹事	福江 厚啓	9	2
常任幹事	嶋田 志保	10	2
常任幹事	藤村 充邦	11	5
常任幹事	今井 泰則	12	6
常任幹事	山川 雄亮	13	5
常任幹事	高田 洋平	14	1
常任幹事	角 千絵美	15	2
常任幹事	鎌倉 真希子	16	3
常任幹事	下村 肇	17	5
常任幹事	二塚 大地	18	2
常任幹事	土肥 浩樹	19	1
常任幹事	長田 亜沙美	20	4
常任幹事	樋口 千夏	21	5
常任幹事	山田 雄介	22	5
常任幹事	鈴木 垂衣	23	2
常任幹事	船木 悠平	24	3
常任幹事	浜井 欣宏	25	3
常任幹事	平田 拓也	26	1



先生にまつわる思い出編 ～同窓生の間で有名な先生は?～

T副会長(1回生)、Tさん(3回生)、Fさん(11回生)、Cさん(15回生)、Hくん(26回生)が常任幹事会で話をしています。

- Cさん(15回生): そういえば、福岡高校が今年で30周年らしいですね。
T副会長(1回生): そうだね。早いもんだね。
Fさん(11回生): 福岡高校ができた当時って、どんな感じだったんですか?
T副会長(1回生): んー、福岡高校の制服がなくて、中学校の制服で高校の入学式に出たっけ。で、いつのまにか校歌ができて…
Cさん(15回生): えっ、みんなで作ったんですか? 作詞、作曲とか?
T副会長(1回生): まさか。作詞したのは、初代校長先生だよ。青塚与市先生。「自律・実践・創造」という福岡高校の校訓も、青塚校長先生が創ったんだよ。
Hくん(26回生): ええ、初代校長なんですか。偉大ななあ。
T副会長(1回生): でもな、他にもすごい先生おるぞ。保健体育の買場先生。開校してから19年も勤務されたんや。この記録は破れんやろ!
Cさん(15回生): うわっ、なつかし〜。体育ならった〜。
Hくん(26回生): オレ、今19歳です…。すげえ…。
Cさん(15回生): 青年体操もなつかしいよね〜。
T副会長(1回生): あったな。なぜかピアノの伴奏で体操するやつ。福岡高校の運動会の名物や。
Fさん(11回生): うん! めっちゃ練習するんよ。で、青年体操の練習ばっ

学校の近況 平成23年度 部活動成績

陸上競技部

- 第60回高岡市長盃争奪加盟団体対抗陸上競技大会
やり投げ(55m01) 1位 圓本 真也(32H)
女子100mハードル(17秒77) 1位 江口 佳那(23H)
- 第16回富山カップ陸上競技大会
やり投げ(56m11) 3位 圓本 真也(32H)
- 第64回富山県高等学校陸上競技対校選手権大会
やり投げ(57m67) 2位 圓本 真也(32H)
- 第50回北信越高等学校陸上競技対校選手権大会
男子やり投(57m59) 4位 圓本 真也(32H)
(全国高等学校総合体育大会出場)
- 第53回富山県陸上競技選手権大会
やり投(57m00) 1位 圓本 真也(32H)
(第55回北陸陸上競技選手権大会出場)
- 第64回富山県民体育大会
やり投(54m89) 1位 圓本 真也(32H)
(国体出場)

サッカー部

- U-17 富山県サッカーリーグ2011 Eグループ優勝 福岡高等学校

放送部

- 第50回富山県放送コンテスト
ラジオドキュメント部門 優秀賞 福岡高等学校
創作ラジオドラマ部門 優秀賞 福岡高等学校
朗読部門 優秀賞 向井 彩(32H)
(第58回全国高校放送コンテスト校内放送活動研究集会(全国大会)に出場)
創作テレビドラマ部門 優良賞 福岡高等学校
- 第41回高等学校ラジオ作品コンクール
佳作「平等さん」福岡高等学校

美術部

- 第36回富山県青少年美術展デザイン部門
入選 竹下 里奈(32H) 反保 紗由香(31H) 河原 つかさ(13H)
絵画部 入選 広田 絢音(33H) 入選 彫刻部門 澤田 一妃(32H)

吹奏楽部

- 第39回富山県吹奏楽コンクール 高等学校A部門 銀賞
- 第33回高岡地区アンサンブルコンテスト
金賞 打楽器三重奏、クラリネット四重奏
銀賞 フルート三重奏、金管六重奏

書道部

- 第36回富山県青少年美術展
書部門 金賞 伊藤 晴香(23H) 銅賞 東 美香(21H)
入選 澤田 一妃(32H) 高橋 真都華(22H) 山田 結貴(21H)
草山 優美(12H) 堀 加奈代(12H) 西田 香菜子(13H)

科学部

- 第55回日本学生科学賞(富山県審査委員会による)
最優秀賞 富山県立福岡高等学校 科学部
～紙を再利用して水の硬度を下げる方法Part II～
- 第55回日本学生科学賞 中央審査 入選3等
- 第23回富山県高等学校自然科学部研究発表会
研究発表の部(化学) 優秀賞 富山県立福岡高等学校 科学部
(第36回全国高等学校総合文化祭富山大会出場)

華道部

- Ikenobo 花の甲子園2011 北信越地区予選
アメージング賞 富山県立福岡高等学校

その他

- 第7回IPA情報セキュリティ標語・ポスターコンクール
標語部門 金賞 藤井 友里(13H)
- 第13回富山県高等学校英語プレゼンテーションコンテスト'11
スピーチ部門 優秀賞 佐野 史歩(21H)
(第5回全国高等学校英語スピーチコンテスト東海北陸ブロック大会出場)
- 育英英語スピーチコンテスト
スピーチ部門 北日本新聞社賞 寺林 侑莉(12H)
富山新聞社賞 皆口 友香(31H)
- 第50回全国高等学校生徒英作文コンテスト
1年の部 入選 平瀬 正樹(12H)
- 第30回あきた全国舞踊祭 舞踊コンクール
群舞部門 入賞 澤田 葉里(12H)
- とやま科学オリンピック2011
高校部門化学分野 銅賞 川西 志幸(22H) 藤波 祐太(22H)



かりするから、開会式のラジオ体操で間違って手たたく人いたりするし!

Tさん(3回生): いたー!(笑)

Hくん(26回生): 青年体操って、何ですか?

T副会長(1回生): えっ?知らないの?

Hくん(26回生): はい、したことはないです…。

Fさん(11回生): えー、復活させろよ。青年体操!

T副会長(1回生): おっ、復活いうたら、高井先生!前に福岡におった体育の先生、戻ってきた!剣道すごい先生!!

Hくん(26回生): 30年の中で戻ってくる先生もいるんですね。カムバック組ですね。

Cさん(15回生): 例えば、国語の村澤先生。学年主任でしばらくして教頭になって戻ってこられたらいいよ。

Tさん(3回生): オレの同級生、出口っていうんだけど、英語の先生になって福岡高校にいるよ。

T副会長(1回生): そうそう。利田先生っていうんだけど、オレ英語習った。で、戻ってこられて今年うちの子と英国研にも行かれるらしいよ。

Tさん(3回生): えっ、T副会長!親子で福岡高校なんですか!



T副会長(1回生): うん。同窓会でもPTAでも顔出してんの。

Fさん(11回生): T副会長が1回生で、在校生にお子さんいるんだ…。

Hくん(26回生): 福岡高校の歴史も長いんですね!

T副会長(1回生): なつかしい先生たちも思い出したけど、いろんな人が関わってきた学校なんだよね。

Cさん(15回生): 30年って長いですね。わたしも今30なんです…。

第27回同窓会総会告知

日時 平成24年 8月12日(日)

14:00~16:00(受付13:30~)

同窓会総会 14:00~14:30

懇親会 14:30~16:00

会場 ホテルニューオータニ高岡

同窓会総会 瑞竜の間(4階中宴会場)

懇親会 鳳凰の間(4階大宴会場)

会費 5,000円 (27回生は2,000円)



今年のメインの回生は、7回生、11回生、17回生、27回生です。幹事候補のみなさん、学年を超えたネットワークをつくりに来ませんか?創造力が豊かなあなた、やってみたい懇親会のアイデアをスタッフにこっそり教えてくれませんか?

たくさんの方のご来場をお待ちしております。

福岡高校創立30周年記念事業のご案内

とき 平成24年 10月26日(金)

- ・記念式典(本校第1体育館) 午後1時30分~
- ・記念行事(本校第1体育館) 午後2時45分~
- ・祝賀会(高岡ニューオータニ・ホテル) 午後6時30分~



本校が迎える新入生は、今年で第30回を数えます。5000名を超える卒業生は、既に各界・各分野で活躍しています。福岡の地で育まれた、繋がった30のチェーンは、ひとつの人格を持ち始めたようです。

今日まで、本校はどのように歩んできたのか。これから、我々“福岡の絆”はどんな歩みをしていくのか。当日は、自分たちの“今とこれから”を確かめる、きっと忘れることのない、大切な1日になることでしょう。

福岡高校創立30周年を記念し、みんなで祝いましょう!

※同窓会では、創立30周年記念事業に向けて、会員の皆さんに協力金のお願いをすることとしました。会員の皆さんへ趣意書等を送らせていただきますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

編集後記

この会報の編集は、まずみんなの思い出話からはじまります。1回生から昨年卒業の26回生まで、26年分の思い出を凝縮した「しっとるけ福岡高校」の記事。前回の同窓会総会を思い出おこしての記事。今年も楽しみながら作らせていただきました。皆さんにもこの楽しさ、なつかしさが伝わりますように…

事務局だより

- ◇各学年の同窓会、部のOB・OG会の開催記事を募集しています。
- ◇福岡高等学校のホームページを開設しています。ご利用ください。なお、同窓会ページは多くの意見をどんどん取り入れて、内容を充実させたいと考えています。
- ◇会報をホームページにも掲載しています。 <http://www.fukuoka-h.tym.ed.jp/ja/doso.html>

注意 同窓会事務局と名乗り、住所、進路等の問い合わせをする業者があります。ご不審な点がございましたら、下記へお問い合わせください。

福岡高等学校内 同窓会事務局 電話(0766)64-5275 FAX(0766)64-5276

E-mail dousou@fukuoka-h.tym.ed.jp